

<p>テーマ 支援の目的</p>	<p>「さいころたし算・ひき算」 繰り返り上がりのないたし算やひき算の学習を楽しく遊び感覚で行うことができるようにする。</p>
<p>使用方法</p>	<p>①二つのさいころをふる。 ②出た目の数を確認する。 ③二つの出た目を数字に直す。たし算やひき算の式を立てて、ノートに書く。ひき算の場合は、大きい数字から小さい数字を引くことを確認する。 ④さいころに書かれた数図ブロックの数を見て、答えを出す。 ⑤慣れてきたら、数字で示してあるさいころに随時変更する。</p>
<p>写 真</p>	<p>視覚的に計算をしやすくするように、さいころには、数図ブロックの数を示す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>たし算バージョン</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ひき算バージョン</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つのさいころに、1～6まで書く。</li> <li>・ふだん使用している数図ブロックと同じ形式で示す。</li> <li>・<math>6 + 6</math>と<math>6 + 5</math>が出た場合は、数を数えて答えを出す。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一つのさいころには、1～6まで、もう一つのさいころは、5～10まで書く。</li> <li>・ひき算を意識できるようにさいころの色を変更する。</li> <li>・答えが0になる場合も学習する。</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">さいころたし算を使って、すごろく遊びも行くと効果的である。</p>